



# 上川井だより

令和2年11月30日

横浜市立上川井小学校

校長 山崎 真紀子

## 12月号

### 人と人を結ぶ挨拶

早いもので、来年の足音が聞こえてくるころになりました。

先日の授業参観には、体調管理・分散参観等、ご協力いただきありがとうございました。久しぶりの参観日とあって、朝から子どもたちもそわそわと嬉しそうでした。こうした機会が子どもたちの成長には大切なのだなと改めて感じさせられます。

さて、去る11月16日(月)に6年生が鎌倉見学に出かけました。北鎌倉の円覚寺を皮切りに葛原岡神社・銭洗弁天をめぐり、高德院の大仏を拝観し、長谷寺では、海に臨む絶景を楽しみました。

円覚寺のたくさんの仏像に神聖な気持ちになったり、高德院の大仏を仰ぎ見たり、自分の足で歩き、自分の目で確かめて、感じることも多かったようです。「歴史に興味があった」という声も多く聞かれました。

当日はよく晴れて、絶好のハイキング日和でした。鎌倉の山道は、あちこちに根が張り出し、急な細い道でしたが、子どもたちは、弾む足取りですいすいと進んでいきます。みんなで校外に出かけられたうれしさがエネルギーとなっているようです。切通しや海を見下ろす高台など、注目してほしい場所は自分たちで探せるように写真撮影するミッションを組んでいました。そのため、見つける楽しみも相まって、生き生きとハイキングをしていました。

山道では、山歩きを楽しむ一般の人とすれ違うこともありましたが、道を譲ってもらうたびに、「こんにちは。」「ありがとうございます。」と気持ちの良い挨拶を交わしていた姿が印象的です。感謝する気持ち、気持ちよく人と接する姿勢がよく身につけているなと感心しました。

学校で目指していた子どもの姿について、行事を通して見ることができうれしい限りです。

山では、知らない人同士でもよく挨拶を交わします。それは、山に登るということには怪我や遭難などの危険が伴うからだともいわれます。いざというときに、助けを求めたり、目撃情報をもとに検索してもらったりできるからです。さらに、挨拶を通して会話し、先の道の情報を共有してより安全に登山を楽しむためでもあるそうです。

学校での挨拶も、互いを気遣い、心をつなぐコミュニケーションの糸口として役割は同じだと言えます。マスクで表情が読み取りにくい日常だからこそ、笑顔で挨拶が交わせる関係を大切にしていきたいと思います。